

第7回 宇陀市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	平成27年8月22日(土)午前9時30分～
開催場所	宇陀市市役所 大会議室

○子ども・子育て会議開催

(1)開会	
(2)委員の紹介	
(3)正副会長 の選出	・会長 上野氏 副会長 楠田氏 に決定
(4)会長挨拶	・上野会長あいさつ
(4)議事案件	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市子ども・子育て支援事業計画の概要について ・宇陀市における子育て支援の状況について事務局より説明を行った。 ・病後児保育事業について大宇陀こども園長より説明。 ・預かり保育事業について榛原幼稚園長より説明。
質疑・意見	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育について、資料では5カ所、事業計画では7カ所の違いは？ ・高学年と低学年の見込の量は？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・榛原の学童保育室につきまして、資料では1カ所となっていますが、2保育室となっています。同じように榛原東小学校も同じ場所で2保育室ありますので合計7カ所ということです。あと、低学年と高学年の内訳について手元に資料はありませんが高学年の人数は、かなり少ない状況です。
委員	・今現在、高学年と低学年の確保はできていますか。
事務局	・今の状況では、待機児童はいません。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、学童保育の話がありましたが、保護者の車のスピードが危ないと感じます。 ・もし、皆さんの中で知っている先生がおられたら、お話ししてあげればいいのかと思います。
委員	・病後児保育のおやつについて、300円ということですが、自園調理か、市販のものか？
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・300円は食事も込みの金額です。 ・保育所児と同じで、自園で調理しています。また、その子の体調に合わせ、医師の指示書を元に、下痢食等の対応をしています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育を実施するにあたり宇陀市の医師会と十分協議をさせていただきました。医療情報提供書につきましても、子どもの状況が事細かにわかるよう記入頂いています。また、大宇陀こども園の別棟に病後児保育室がありますので、在園児とは接触しないかたちで保育を実施している状況です。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に市民病院で院内学級というのはどうでしょうか。 今、市立病院に小児科ができたので、例えば天理の憩い病院には院内学級があり、大きな病気で長期間、学校を離れる児童に週一回、学校の先生が授業を教えに来るんです。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今は、そのような需要が無いと思いますので、まず病後児保育が始まりましたので、今後充実させていくとするならば、病児保育が先ではないかと考えています。 なんとか病院の一室でも設けて病気の時でも預かれる体制づくりを考えています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・また、学童保育のことですが、国では子育て支援について小学校6年生まで入れる状況をつくるということでしたが、宇陀市では一応3年生までで4年生以上は空きがあれば入れると教えて頂きました。 他のお母さんに話を聞くと高学年は普通の授業が長いので利用しなくても大丈夫ですが、夏休みだけ利用できる計画とかありますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、5年生6年生で学童に通っているお子さまもいます。 ただ、それはスペースに余裕がある学童保育室で、余裕が無い保育室では低学年を優先とさせて頂いています。 夏休みだけの高学年の利用について、指導員の確保や専用スペース等考えていかなければならない、少し難しいですが、今後の課題だと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、支給されたぴかぴか1年生の商品券ですが、今後もされますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、地方創生事業で実施しましたが、28年度につきましては、まだ決まっておりません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年のお母さんから、準備物を1月2月に多く購入するので準備する前に支給される方が助かりますといった意見がありました。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・また、検討させていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、預かり保育の状況ですが、土曜日の預かりの時間が場所によって違うということがありますので、市内同一の時間で考えて頂きたいと思ひますし、もう一1点、最近、寝屋川の事件もそうですが最近、物騒な事件が多く報道されています。 子どもに対する声かけ活動が必要だと思います。自治会も含めた啓発・防犯活動の話になるかも知れませんが、子育て会議でも発信し、防犯部分での方向性等について示していければと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ目の預かり保育についてですが、基本、土曜日は実施しておりません。 保育所における土曜保育は延長という形で実施しております。 市内の公立私立の保育所の保育時間が、まだ同一になっていない状況です。 子どもの利用状況により、検討して実施していきたいと思ひます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全確保の部分につきまして事業計画の43番からありますが、各課それぞれ点検して取り組んでいきたいと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・取組事業の43から46項目がありますが、交通安全登校児童指導とか交通安全対策協議会等、各パートと一緒に今後協議して頂ければありがたいと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯について、何かあってからでは遅いので警察のパトロール、特に幼小中、順次していただけたらありがたい、宇陀市をはじめ警察にも要請していきたいと思ひます。 あと、10周年記念事業すくすくフェスティバルの開催日としらゆり保育園の運動会が重なっているので今後、日程確認していただければと思います。 最後ですが、事業計画の基本的な視点の中の4番目、地域、家庭、企業、行政等が連携しのところで、現在における企業の支援の推進というのはどういったところでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・10周年事業のわんわんと遊ぼうショーにつきまして、NHKとの調整の関係で、この日となりました。 今後は、十分に市内行事について調整していきたいと思ひます。 企業の支援につきまして、事業計画にある職業生活と家庭生活との両立支援ということで、認定マークくるみんの周知となっています。 宇陀市におきましても毎月19日を、宇陀育児の日として、職場でも啓発しています。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 企業の体制は、ワークライフバランスということで、子どもを出産後、短時間正職員といいますが、小学校に上がるまでの間は、子育てをしながら仕事を続けられるような体制をとっています。最近思ったことなのですが、第2子を出産後、1年育休をとってもらうのですが、半年で職場復帰しないと保育所を辞めなければならないとお聞きしたのですが、そのへんの取り決めについてお聞きしたいのと、定員に対して入所児童が極端に少ないところがあるのですが、特に菟田野ですが、少ないから閉園するとか、そのようなことは無いのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 育児休業期間中の保育所利用ですが、新制度では、利用時間は短時間認定となりますが、1年間の育児休業期間中における継続利用につきまして利用は可能となっております。ですので、安心して預けて頂けたらと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 入所児童の減少という中で、今後として、事業計画の29ページの中で、菟田野区域は、幼保連携型認定こども園として設置に向け検討整備を図っています。また、31ページ榛原地域におきましても、公立3幼稚園と公立保育所について、地域の実情も踏まえながら認定こども園の検討、整備を図っていくとしています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> また、学童のことなのですが、保護者から低学年でも夏休みからだと入れないから4月から入れていると聞きました、夏休みだけの申込があった場合どうされるんですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 申込につきまして、年度途中でも余裕があれば受け入れできます。ただ、夏休みの一ヶ月だけの受入は今のところしていません。先ほども言いましたように、高学年の夏休みだけの受入は大変厳しい状況にあると思います。例えば公民館事業でこの一週間は〇〇教室をしますというような形で繋ぎながら子どもを見守るのがよいのかと思います。ただ、夏休みだけ入りたいから4月から申し込んでいる話は、聞いてませんので、また、詳しく聞きたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> もし、低学年で出た場合、受け入れられないとなったときは、どうされますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 7月から入りたいとなった場合でも、3月まで入るということで受付させて頂いています。夏休みになって40名の児童の中に、入ってきたときに、なかなか集団になじめない、過去に、そのことでトラブルになった経緯もあり、夏休みの間なじめない中で、一日過ごすというのは、厳しいのかなと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この制度で、教育保育の保護者負担があるかと思いますが、2号、3号認定で標準時間と短時間認定で設定されているかと思いますが、短時間認定の方が勤務時間の都合により延長保育を利用する中で、標準時間認定より保育料が高くなることに対し宇陀市は把握しているのか。把握しているのであれば何軒か。国のQ&Aでは、短時間認定における時間を越えての利用に対する取扱いについて、市町村の判断により標準時間認定とすることが可能であるとなっています。このことについて、宇陀市では、どのように検討されていくのか教えて頂きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 保育料について、現在、標準時間と短時間認定の二つに分類されています。宇陀市では、午前8時30分から午後4時30分までの8時間をコアタイムに設定しております。ほとんどの市では、この時間をコアタイムに設定しており、宇陀市では、延長保育の利用料金を一日200円負担を頂く設定となっています。今後、他の市町村の動向も踏まえながら考えて行きたいと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 保育料につきまして、条例も通していかなければならないところもあるのですが、ほぼ毎日延長というような場合は、標準時間認定に早急にしてもらえないのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 時間設定につきましても、条例、要綱とありますので、明日から直ぐにとはいきません。今後、検討はさせて頂きたいとは思っています。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 園で、軽い問題行動があったり、発達相談を紹介された場合、発達相談そこからリハビリセンターとなるんですが、リハビリセンターは就学前で終わってしまいます。 修学後、継続してリハビリ的なことを受けたいと思っている保護者がおられるんですが、実際、通級指導教室でやられている対応と、療育的な観点から対応できるのであれば、検討して頂きたいと思っています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各学校とも通級に関して、先生方の専門性も高めていかなければといつも思っています。 言語の方では、ほほえみ教室があるんですが、榛原小学校にあるだけですので、人数的なところ今後増える状況なのかってところもありますが、対応できる人数確保もしていかなければならないというところもあります。 状況を見ながら、ネットワークをつくり、学校と連携しながら実施しているところです。 まだまだ、課題の部分もあり、保護者のニーズや子どもの状況、現場の声も聞きながら、今後考えていきたいと思えます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 補足ですが、すくすく情報誌の中に相談情報アラカルトという欄があると思うんですが、今、ご質問されている部分、療育教室こあら、適応指導教室はばたき、ほほえみ、教育相談、家庭児童相談カンガルー教室が、療育や発達関連の相談かと思えます。 産まれて直ぐくらいから3歳までの間に発達遅滞等の部分をまずカンガルー教室で察知し、コアア教室で対応し、園や学校に入って、教育等を受けていく中で、通級指導教室や適応指導教室、教育相談を受けてある程度進んでいくことになっていきますが、専門的な知識が、どうしても宇陀市の部分では対応が難しいので、周りの専門家が対応しているんですが、そういう声があるというのもわかっておりますので、もう少しコアア教室を大きくできないか検討しているところです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> リハビリセンターで、かなり医療的なリハビリを受けているのと、宇陀市では医療的な方は配置されていますか。 コアア教室には配置されていますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> コアア教室には、心理士が少し関わっている部分があります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> カンガルー教室は保健師ですか
委員	<ul style="list-style-type: none"> そうです。 はばたきの方も心理士
委員	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の発達のほほえみも心理士ですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ほほえみは、言語聴覚士です。
委員	<ul style="list-style-type: none"> リハビリセンターから受けてきていて、次にその続きがなかなか継続できないところがあるので、是非その部分について補強頂けたらと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 宇陀市に言葉の教室はありますか
事務局	<ul style="list-style-type: none"> あります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 学童のことなんですけれども、夏休みだけの入室ができないので、4月からという方が、周りから聞いてほとんどです。 少数の意見だと、できません、しません、で終わってしまいます。 少数の意見も踏まえて、今後、少しでも可能にする方法はたぶんあると思うんです。 学童のことに関しても、夏休み子どもだけで家にいるのは危ないと思う親が結構いらっしゃいます。 実際に今、利用していて4月に入られても途中で辞められるお子さんもいますし、週一回の利用の方もいますし、毎日行く方も少ないんです。 夏休みも、毎日利用している子がなくて、20人以下の日が多いです。 そのへんの状況を細かく調査すれば、条件はでてくると思うので、調査して、改善していく対策を考えて頂けたらと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今後、少数意見でも実際そのような意見があるとゆうことですので検討して行きたいと思えます。 学童保育についてですが、子どもさん一人当たり1.65㎡を確保しなければならない条件があります。 榛原小学校、榛原東小学校につきましては、昨年度より人数が増えている状況で、小学校、教育委員会とも十分協議させて頂き、現在2部屋とっていただいている状況です。 そういった中、少しづつでもニーを受けて、そういった方向で進めていきたいと思えます。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて参加させて頂いて、わからない部分があるんですが、一つ二つ質問させて頂きたいと思います。一つはアレルギー、食育の問題です。アレルギーのお子さんがどのくらいおられるのか教えて頂きたいです。それに対して各施設どのように対策されているのかですね。2点目は、各施設の利用定員と現在の利用の差ですね、確保の内容や先生の人数もあるかと思いますが、何かこの格差を利用して、ピーアールできる施策があればいいなと感じています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご質問のありましたアレルギーの関係ですが、アレルギー児童は、本当に増えております。保育園・こども園のアレルギー児童は、30名近い状況です。保育園・こども園は自園調理、幼稚園は学校給食センターが対応している状況です。すべて医師の診断書をもとに除去食というかたちで実施しています。アナフィラキシーを起こすお子さんも中にはおりますので、食事の提供については、細かなマニュアルにより対応しています。また、宇陀市全体として、市立病院の小児科の先生を講師として研修も実施しているところです。宇陀市におけるアレルギーに対する原材料の表示について、大きなファミリーレストランは、そのような表示があるかと思いますが、個人のお店について、まだまだ、していないところもありますので、今後、そのような啓発もしていきたいと思っています。 ・それから、各園の充足率ですが、定員に対してかなり隔たりがあるかと思っています。特に榛原の幼稚園につきまして、20数年前は学年のクラスが4クラスや5クラスという状況もありました。現在、大きな施設やの定員のまま現在に至っている状況です。空き教室を利用しての事業としましては、大宇陀こども園で実施している病後児保育が大きな事業になるかと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーが急に発症したときに、吸引器で簡単な対応ができるものがあるらしいんですが、市立病院や近隣の病院では持っておられなくて医大まで走ったことがあるんですが、今の施設には常備されていますか。市立病院にあれば一番いいんですが。その子は普段、呼吸器を持っているんですけども。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市立病院の先生にお聞きした中で一番効率がいいのはエピペンと聞いているんですが。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの初期症状としては、まず呼吸がしにくくなるので、初期の対応として呼吸器を持っておられるのかもわかりません。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は、長時間にわたりまして意見を頂いたこと感謝申し上げます。本日はありがとうございました。
(5)閉会	